

12月
定例会

11/27 ~ 12/17

コミュニティバス「フラワー号」小型 電気バスの購入 公の施設の指定管理者の指定 (鴻巣市産業観光館)



審議議案

令和7年12月定例会は、21日間の会期で開かれ、市長から提出された「令和7年度鴻巣市一般会計補正予算(第6号)」など17件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり同意・可決しました。なお、議員提出議案として2議案が上程されましたが、1議案は原案のとおり可決し、1議案は否決となりました。

主な審議内容

政策総務常任委員会



補正予算 県重点政策連動事業 補助金

問 補助金の具体的な内容は。

答 「世界に羽ばたくこのとりSDGS推進事業」として補助金を申請しています。地方創生SDGS発信事業では、コウノトリをシンボルとしたSDGS推進を発信する体験ブース等を制作し、大阪・関西万博の地方創生SDGSフェスへの出展等に活用しました。また、市の鳥「コウノトリ」の制定に伴い、コウノトリ野生復帰センター天空の里のパンフレットやPR動画の作成等にも活用しています。

問 補助金の申請方法と補助率は。

答 県重点政策連動事業は、埼玉版SDGS推進事業など4事業があり、本市のSDGS推進の方向性と合致したため申請しました。補助率はソフト事業が事業費の3分の2以内、ハード事業が2分の1以内で、今回の160万円はソフト事業として3分の2の補助金を申請しています。

補正予算 財政調整基金繰入金

問 財務会計上の役割や必要性は。

答 税収減や災害などによる臨時支出に備え、年度間の財源不均衡を調整し、財政の健全運営を図るために必要不可欠な基金です。

問 標準財政規模に対する残高の割合の大きい自治体と本市の状況は。

答 令和5年度決算で深谷市51.7%、熊谷市28.2%、本庄市26.6%で、本市は12.5%、県内40市中27位です。

補正予算 本庁舎維持管理事業

問 光熱水費増額の具体的な内容は。

答 電気・ガス料金不足が見込まれるため、補正予算を計上しました。

問 電気料金の比較や見直しは。

答 現在は、東京電力より1キロワットアワー当たり0.03円安い業者から購入していますが、今後は他社とも比較検討していきます。

文教福祉常任委員会



条例の一部改正 入学準備金貸付・奨学 資金貸与の対象拡大

問 条例改正の背景は。

答 学校教育法の一部改正により、一定の要件を満たす専修学校に「専攻

科」が設置できるようになるため、入学準備金貸付・奨学資金貸与の対象に「専攻科」を追加するものです。

補正予算 難聴高齢者補聴器 購入費助成

問 申請数と交付数に差がある。交付しなかったケースとは何か。

答 補聴器自体が高額となることや、機器の調整に時間がかかることなどで、申請後に購入しない場合があると認識しています。

補正予算 障害児通所支援 サービス給付

問 主な増額の要因は。

答 障害福祉サービス等報酬のプラス改定や、特に放課後等デイサービスの利用が増加しているためです。

問 障害者支援給付金の不正受給の報道が相次いでいるが、本市の対応は。

答 県の不正防止連携会議で示された取組を踏まえつつ、利用実績のそのこの報告を受けた際にはサービス提供実績を確認しています。不正請求の疑義が生じた際は、実地指導など状況に応じて必要な対応を行います。

補正予算 産後ケア事業

問 主な増額の要因は。

答産後ケア事業のうち、特に宿泊(シヨートステイ)型の利用が伸びており、当初予算を大幅に上回る見込みとなったためです。



問利用者からの声は。

答十分な休息が取れた、体力が回復できた、気分転換になったなど好意的な声をいただいています。

補正予算 小中学校教育ICT 環境整備事業

問補正予算の使途は。

答小中学校合わせて181台の学習者用端末の修繕費用となります。

問学習者用端末の修繕とのことだが、一番多い破損箇所は。

答パソコンのディスプレイとキーボードの接続部分です。

まちづくり常任委員会



補正予算 道路反射鏡設置及び 修繕工事

問道路反射鏡設置数は。

答約3千600基設置しています。

問新規設置と修繕の要望件数は。

問令和6年度は新規設置と修繕合わせて75件、7年度は新規設置が13件、修繕が17件の合計30件です。対応件数は、令和6年度が53件で7年度に持ち越した案件が22件、7年度は持ち越された案件を含め52件中、対応件数が38件です。



補正予算 統合型GIS システム更新業務

問統合型GISの活用項目数は。

答道路占用システム、境界査定システム、統合型地理情報システム、公開型地理情報システム、都市計画支援システム、空家等対策管理支援システム、建築情報管理システム等の13項目となります。



補正予算 配水管新設工事及び 配水管布設替工事

問配水管の種類及び使い分けは。

答配水管の種類については、耐震管であるダクタイル鋳鉄管と水道配水

用ポリエチレン管を採用し、耐震管率の向上を図っています。使い分けについては、大口径管や基幹管路などの重要路線に高強度のダクタイル鋳鉄管を使用し、その他の管路には水道配水用ポリエチレン管を使用しています。



市民環境常任委員会



条例の一部改正 コウノトリ野生復帰 センター条例の一部を改正

問条例改正の内容は。

答コウノトリ野生復帰センターを地域生物多様性増進活動支援センターとして位置付け、業務を追加するものです。



その他 産業観光館の 指定管理者を指定

問非公募とした理由は。

答伝統工芸品の展示や観光振興に高い専門性を有し、地域活性化に寄与する団体であるためです。

補正予算 アライグマ捕獲業務委託

問委託先の選定方法は。

答指名参加登録している市内業者4社により入札をしています。

補正予算 一般廃棄物処理 基本計画策定業務委託

問新たなごみ処理施設等整備基本計画との連携は。

答埼玉中部環境保全組合で進められている新たなごみ処理施設の整備に関する事項についても、組合の事業の進捗状況等に合わせて記載していく予定です。

補正予算 国民健康保険事業 特別会計

問運営基金積立金の残額は。

答今回の積立てにより、国保運営基金の年度末残高見込みは約1億6千700万円です。

補正予算 後期高齢者医療 特別会計

問保険基盤安定繰入金の実際の世帯数は。

答後期高齢者広域連合からの通知により10月に確定した人数ベースとなりますが、1万3千151人です。